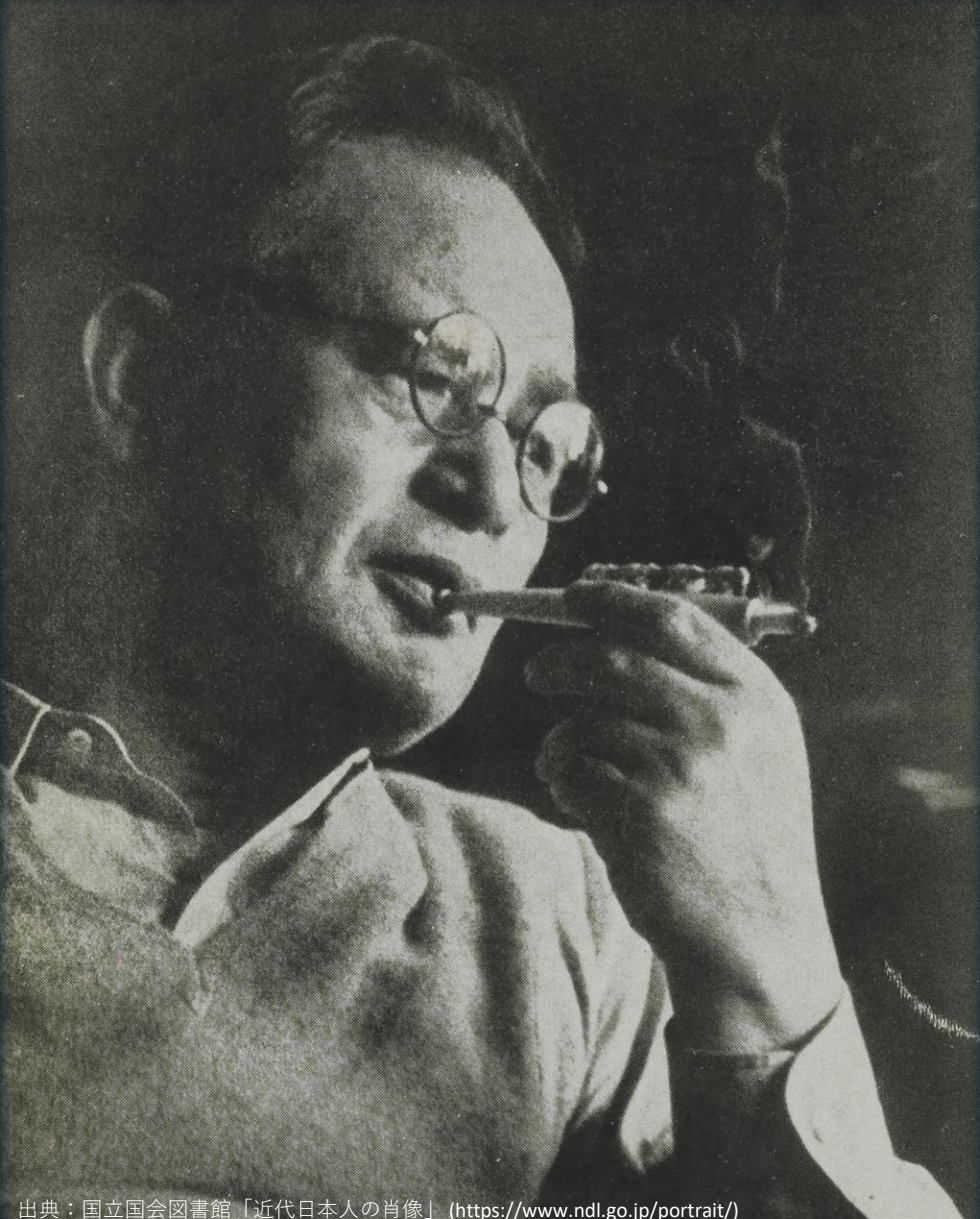




戦後80年から振り返る

重光葵と国東

—平和への道—

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

令和7年 6月28日(土) ▶▶▶ 9月28日(日)

会場：弥生のムラ 国東市歴史体験学習館

国東市国東町安国寺1639-2

提供：猪俣利治氏



戦時下の国東小学校の写真



重光葵氏の帽子と
ステッキ



巢鴨日記(原本)

山溪偉人館所蔵



戦時中資料

国東市歴史体験学習館所蔵

令和7年、日本は太平洋戦争の終戦より80年を迎えます。終戦の際、外交官として戦艦ミズーリ号で降伏文書に調印した重光葵(まもる)氏の遺骨は、国東市安岐町山口に埋葬されています。そしてその墓地の近くに葵氏の弟蔵(おさむ)氏らの協力で、葵氏の遺品や写真を展示する山溪偉人館が開設されました。

重光葵氏は戦争の反対を唱えつつも時代の波にのまれ、降伏文書調印後はA級戦犯として逮捕されるという、激動の人生を歩みました。その一方、向陽を名乗り数多くの書や似顔絵などの作品を残し、芸術家的側面も持っていました。

本企画展は、国東市にもゆかりのある偉人重光葵氏の歩んだ人生や、戦時下の国東の暮らしについて理解を深める一助とするため開催します。

弥生のムラ 国東市歴史体験学習館

〒873-0504 国東市国東町安国寺1639-2

入館料:一般200円/小中学生100円

※団体(20名様以上)は料金50円引き

開館時間:9:00~17:00

※ただし入館は16:30まで

休館日:毎週月曜日(祝日除く)、祝日の翌日

☎ ▶ 0978-72-2677

